

タイトル

対人援助職の内なるスティグマ

-トラウマ・アディクション・ホームレス・健康格差を生き延びるために-



講師

熊倉 陽介 先生

(東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野)

- 少子高齢化・人口減少社会を迎える中、社会保障財源は限界を迎え、保健医療制度の持続可能性が懸念されます。我々は社会保障の効率性を求めながらも、歴然と存在する健康格差を決して看過することなく、ヘルスケアの公平性を高めていく必要があります。
- 多様な価値を尊重しながらも、自殺やそれに似た「緩慢な自殺のような生き方」を、「自己決定である」と放置することなく、有効な支援を行うことが求められます。しかしながら、対人援助職が身につけた専門知、そして支援する/されるという構造それ自体が、複合的な困難を抱える人々の声をしばしば圧殺し、時にコンフリクトを引き起こします。
- 支援の現場にあらわれたい、もしくは支援者の前からするりと離脱していく人たちの前にして、対人援助職は何をなし得るのでしょうか。トラウマ・アディクション・ホームレス、そして対人援助職の内なるスティグマについて考えることから、ケアのあり方と行方について考えたいと思います。

日時

2018年 **9月19日(水)** 13:00-15:00

(15:00から1時間程度、講師を囲んで茶話会も予定しています)

会場

筑波大学 つくばキャンパス 総合研究棟D **D116教室**

※D棟前のロータリーは駐車禁止となっております。D棟斜め前のゲート駐車場をご利用ください。

申込・お問い合わせ

参加費は**無料**です。どなたでもご参加ください。

お問い合わせはヒューマン・ケア科学専攻事務室 human_jimu@yahoo.co.jp まで。

当日参加も可能ですが、資料準備の関係上、できるだけこちらから申し込みをお願いいたします。